

2017（平成 29）年度 東京大学 入試問題 第 4 問（文系） 解答例

- 一 筆者の父親は、子供たちの好む花実の付く木を与え、また、木の葉の知識を競わせ、自然とより親しむよう面倒をみたということ。
- 二 草木の理解に聡い姉に対して、素質の劣る筆者はかなわず、父親と姉の和やかな様が妬ましく、一人疎外感を覚えたということ。
- 三 眼前の花木を教材とした父親の話は、子供の遊びの面白さと全く異なり、筆者は直接的に体感できる感動や興奮を覚えたから。
- 四 陽と花と虻と水だけ感じる廃園で、ひときわ勝れた藤の花を父親と二人で眺めて魅了され、筆者は満ち足りていたと思った。